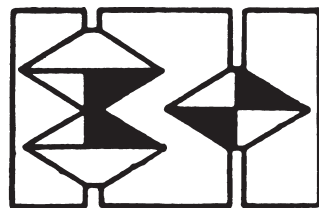


第223号

〔発行〕
令和7年6月22日

〔発行所〕

〒600-8009
京都市下京区四条通室町東入
京都商工会議所内
京都珠算振興会
☎075(353)7124 075(353)7125



第74回通常総会



令和7年5月
25日(日) 京都
経済センター7
階において第74
回通常総会が開
催されました。

山本順理事の
司会により出席
者全員で物故者
に対して黙祷を
捧げた後、京都

商工会議所専務理事、児島宏尚京都珠算振興会会長より「人口減少により必然的に生徒数が減ってしまうのは仕方がないが、どうやってそろばんを残していくか。以前、高齢者を対象に珠算人口の裾野の広げれば良いのでは、と言いましたが、それだけではなく、4年間で増加傾向にある小学生にそろばんを知ってもらわなければならないのでは、と思います。日本一になった大学生達自身の体験を元に小学生をはじめ、中・高生に対して、そろばんの魅力、よろこび、楽しさを教えていくて欲しいと思います。そして今の先生方も後継者を育てていき、珠算人口を減らすことのない様にしてくださいと思います。」との開会の挨拶がありました。

続いて議長に選任された入江実顧問により議事に入りました。

第1案件 令和6年度事業報告(案)
承認に関する件

第2案件 令和6年度収支決算(案)
承認に関する件

第3案件 令和6年度収支決算監査
報告に関する件

第4案件 令和7年度事業計画(案)
承認に関する件

第5案件 令和7年度収支予算(案)
承認に関する件

すべての案件が原案通り可決され、
総会は終了となり、続いて京都
商工会議所により表彰式が行われ
ました。



今回は初めての
5月開催で、
引き続き例会も
行われ、終了後
には素敵な海鮮
ちらしの折詰め
を頂いて散会と
なりました。
総務務委員会

AIの時代こそ 算盤を

浦珠算塾 浦 富江
5月15日の京都新聞朝刊に半面を
使って「AI時代こそ そろばん」の
記事が載りました。

コピーしたものをそのまま会報に載
せたらいいのですが、版權のことも
ありそれは出来ないそうです。
内容は人工知能(AI)が瞬時に答

えを出すので人間が頭を使う機会がど
んどん減ってくる恐れがある。「脳を
鍛錬する必要性が高まっていくが、そ
ろばんで視覚・指を使うことにより、
脳の働きが活発になる」と、そろばん
の効用が述べられていました。他には
中学受験では算数が出来るか出来ない
かが、可否のカギとなるが、必要な計
算力をつけるには、算盤が一番といっ
たことなど、『読み・書き・そろ
ばん』の大切さは不動のものである。
といった内容でした。

その一週間ほど前には早朝のテレビ
で、習い事に「算盤」が見直されてい
るという嬉しい放映もありました。

今年度の総会で、児島宏尚京都珠算
振興会会長のご挨拶の中に、『珠算検
定受験者の減少の危機に何とか良い対
策を』と、厳しいお言葉があり、会員
一同心を新たに、前向きにならなく
てはと思いましたが、この記事やテレ
ビ放映により背中を押される感を覚え
ました。

先日、教室体験学習で小学校三年生
の男の子が母さんと来られました。
お母さんが仰るには、男の子の誕生日
のプレゼントに何が欲しいかと尋ねた
ところ、「何もいらないので、そろば
ん教室に行かせて欲しい」と男の子は
答えたそうです。私は、そのお話を聞
き大変感動いたしました。米寿を迎
え、算盤教室も後一年と思っていまし
たが、「算盤」を通して子どもたちの
教育に携わり、指導者として恥じない
ように、もう少し頑張っていこうと心
を新たにしました。

全種目満点十段を取得して

西京都学院 京都大学3年生

磯貝 勇誠

「年長者は、年少者の手本でなくてはならない。」

私が今回段位検定を受験したのはこの思いによるものでした。

西京都の後輩の三原智輝選手が小学6年生の時に十段を取得したのち、満点十段の取得に苦戦していることを聞いていたので、この度大学生部門に上がる前に一緒に受けて検定を卒業できれば良いなと思って受けることにしました。

自分自身の検定を振り返りますと、5歳で一級を取得してからおよそ5年半かかって小4の10月に珠算十段、小4の2月に暗算十段を取得しましたが、今考えるともっと早く取っておきたかった、もっと早く取れたのではないかと思います。練習でそろばんで弾いて十段を取れるようになるまで、珠算の問題を暗算で解く人が多く存在することをあまり認識しておらず、その発想もありませんでした。練習で十段を徐々に取れるようになった小4の春、全日本ユース大会で個人総合競技の予選の15のタイムでの決勝が追加されたことで5桁×5桁の計算を暗算でできなければ戦えないという意識が芽

生え、暗算で練習するようになりました。全日本珠算選手権大会もほとんどかけ算、わり算をそろばんで弾いた小3では100点だったと記憶しています

ですが、暗算を始めるようになって最後10問の12桁以外暗算で解いた小4は100点。この年ですら優勝の辻窪凜音選手が100点で自分と125点差がついていたことに危機感を覚え、小5は全て暗算で計算し終わらせようという意識が芽生え、100点。そろばんから暗算に切り替えたというだけです。1年で計算スピードが2倍くらいになったかと思います。この得点の飛躍は明らかに全国で戦うためには珠算種目を暗算で行うことが絶対条件のため、練習するようになったことが理由で、これをもっと早くからやっておけば小3ぐらいで十段が取れて、小学校高学年、中学生の成長段階でもっと力を伸ばせていたかもしれない、と思うことがあります。

実際、小中学生のレベルアップは凄まじいです。小4の時点で全日本100点、スピードも私の中学生の時ぐらゐのレベルに到達している青木瑛斗選手や、小学生の時から大人に遜色ない実力で、中2にしてすでに私にスピードが追いついている、あるいは抜かされている種目もあるような高嶋優選手など、成長が楽しみな選手が日本にはたくさんいます。まだまだ負けてられない、自分はこ

ういった選手たちを引っ張っていく存在でなくてはならないと思うばかりです。

昨今東京オープンや全日本Fastのような8桁×8桁、16桁÷7桁まであるような大きな桁の大会が出現しており、それも若手の計算力アップの大きな要因となっているように思います。

ただ、大きな桁ばかりやるのが計算力アップにそのまま繋がるわけではなく、小さい桁のスピードを伸ばすこともスピードアップには大事なように思えるので、バランスをとるのは難しいところです。

このように全国の動向に目を向けると、もはや検定試験レベルに満足せず、さらなる実力向上を目指そうという気になります。とんでもない記録や、選手の存在を意識し、それを目指し、さらには自分が目標とされる記録を作る側になろうと思うことでどこまでも実力は伸びていくように思います。向上心を常に持つとうとしすぎた結果、自分だけでなく、後輩にも厳しくなってしまうてきていく傾向が最近ではあり、少々反省しています。ハングリー精神を持った選手が京都からも現れることを期待しています。そろばんの成長段階のおよそ全ての壁を経験してきたと思っているので、質問には大体お答えできるかなと思います。

はいられないのが充実した選手生活を送るために常日頃最大限の力を尽くしてくださっている先生方、また刺激を与えてくれる選手、応援してくれる方々の存在です。

特に関東の大会に1人で出場する際、頭にはそういった方々の顔が浮かびます。僕は自分の未熟さゆえに、谷口先生をはじめとする先生方に迷惑をかけてしまうことがあります。こんな中続けていて良いのかと悩んでしまったこともあります。そんな中時には本人も苦しい思いをしながらも注意やアドバイスをしてくださる、それはありがたいことでしかないと思っています。後輩を少し気にかけるようになって気づいたことです。他の人の良い点や、特に悪い点について指摘することは本人にとっても楽ではないからです。常によく見ていたでいて、応援してくださっているんだなと実感します。今年5月11日(日)に行われた東京オープンの前日、たくさんの方から激励の言葉を頂き、感極まっています。やはり続けていられるのは当たり前前のことじゃない、周りの人の支えがあつてこそだと常々思います。

ある時、谷口先生が「いつ辞めると言われてもびっくりしない」と仰っていて驚きましたが、ふと考えると自分に残っている時間は一見無限ないように見えてあまり長くはないかもしれないことに気づきました。



だからこそ、選手を続けていられるうちは心から応援していただけるような選手になれるように、支えてきてよかったと思ってもらえる選手になれるように、後に目標にしたいと思ってもらえるような選手になれるように、そして自分自身も悔いのない選手生活だったと思えるように、今を全力で頑張りたいと思っています。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。

十段全種目満点合格を達成して

西京都学院 同志社大学1回生

(合格当時 同志社高等学校3年)

三原 智輝

私が十段に合格したのは小学6年生の2月です。十段合格から全種目満点合格を達成するのに6年かかりました。高校生としては最後のチャンスだったので、取ることができて本当に良かったです。

満点を取るのに一番苦労した種目はかけ算でした。正確さを意識して置いても、速さを意識して置いた時と正答率はそれほど変わらないと感じたので、5分で置いて、残りの5分で全部見直しをするという方法で満点を取ろうと試みました。5分で置けるようになるためにスピード練習をしました。5分で置くと満点の確率も上がり、自信をもって試験にも臨めるようになりました。それにもかかわらず、なかなかかけ算が満点をとれないところが暗算も満点を取れただろうと思っても取れておらず、いつになったら合格できるのだろうと悩んでいました。

一生満点合格することができないと思っていましたが、今回は、塾の先輩の磯貝勇誠さんも十段満点合格を目指して段の試験を受験されており、「早く決めろ」と目に見えない

力を貸してくださったのだと思います。今回満点合格することができ、満点を取れたという嬉しさよりもやっと段の試験から離れられるというのが正直な気持ちです。どんな問題であっても満点を取ることについては本当に難しいもので、自信につながりました。この経験を生かして全国大会でも活躍できるように頑張りたいと思います。

第53回 近畿珠算競技大会

第53回近畿珠算競技大会が3月20日に大阪商工会議所に各府県の代表が一堂に会し、開催されました。

大会は、総合競技(団体・個人)、読上暗算競技、読上算競技、府県對抗競技の順に進められました。

団体総合競技は、中学生の部は、大阪府との同点決勝となりましたが、惜しくも準優勝となりました。大阪府は、小学4年生以下の部、小学5・6年生の部を含め、3部門を制しました。小学4年生以下の部と小学生の部の京都府は、いずれも2等でした。

個人総合競技は、中学生の部で高橋風介選手と久野凌佑選手が満点で7人での同点決勝に臨みました。1番に挙手をした高橋選手が見事、優勝し、小学4年生以下の部から4年連続の優勝を果たしました。小学校4年生以下の部は、唯一満点を獲得

した大阪府の池田 怜央選手、小学5・6年生の部は、5人の満点同点決勝を制した大阪府の中野和佳選手が優勝でした。

種目別競技は、読上暗算が、中学生の山本柚葉選手が満点での同点決勝に進みましたが、惜しくも敗れ、優勝は、大阪府の井黒来泉選手でした。小学4年生以下の部は、大阪府の野田陸選手、小学5・6年生の部は、大阪府の中野和佳選手がそれぞれ優勝しました。

読上算は、小学4年生以下で大阪府の藤本珠子井選手が優勝しました。小学5・6年生の部は、山本穂花選手が満点での同点決勝を制し、大阪府の中野和佳選手の個人三冠を阻止しました。中学生の部は、山本柚葉選手が満点5人の決勝に進みましたが、惜しくも2等に終わりました。優勝は、大阪府の井黒来泉選手で読上暗算との2冠に輝きました。府県對抗競技は、大阪府が59点で優勝しました。京都府は、56点で惜しくも2等でした。

高橋風介選手の4年連続の個人総合競技の優勝は、谷村麗香選手の小学6年から中学3年の4年連続に並ぶ大会記録となります。来年は、連続優勝記録の更新と同じく谷村選手が持つ最多優勝回数(5回)に並ぶことを目指して、さらに実力をつけて欲しいと思います。

京都府全体としては、中学生の部が3年生1名の構成の中で団体が優勝と同点の準優勝となり来年に期待



京都府代表選手団 監督
(競技委員会委員)
木下 卓巳

が持てる結果となった一方で、小学4年生以下の部は、個人総合競技と種目別競技での3等以上の入賞者がいないという非常に厳しい結果となりました。また、種目別競技の入賞者も6名と昨年、一昨年の半分以下に落ち込んでおり、全体的なレベルアップの必要性を痛感させられました。近畿大会でも多くの選手が活躍できるように、京都カップや塾生大会だけでなく、そろばんグランプリをはじめとする様々な大会に積極的に参加し、実力をつけていく必要があると感じました。

第53回近畿珠算競技大会 で4年連続優勝ができて

京都市立京都御池中学校 8年
京都 á b a c o 高橋 風介

今回の大会では、過去に3年連続優勝していることもあり、「絶対4年連続優勝してやる!」と、特別な気持ちで挑んだ大会でした。僕は、ミスが多いため、練習では常に満点を取り続けられるように、自分なりに工夫をしました。その結果、練習では何回練習をしても、満点が取れるという状態が続くようになりました。しかし、総合で満点を取っても決勝戦でミスをしてしまったら優勝はできないので、決勝練習でも、自分ができる一番速いタイムで満点を取るという練習にこだわりました。タイムが速くても満点が取れなかったり、満点を取ろうと意識しすぎてタイムが遅くなってしまうと、バランスがなかなかうまくとれず、練習ではとても苦戦しました。決勝戦の練習を200回以上積み重ねた頃に、ようやく安定したスピードで満点が取れるようになってきました。迎えた本番、総合競技では、緊張することなく、全神経を集中して挑みました。総合競技は、絶対に満点が取れたという手応えがありました。それでも、決勝戦進出者の番号が発表される時は、とても緊張しま

した。自分の番号が呼ばれてひとまず安心しました。

しかし、決勝戦となると、やはりとても緊張してきました。そんな時に、決勝戦は隣が京都の久野凌佑選手だったので、少し安心することができました。迎えた決勝戦では、今まで練習してきたことや、自分を信じて、周りの選手のスピードも確認しながら挑むことができました。

目標にしていた1番挙手ができ、ある程度の手応えは感じることでできましたが、自分の名前が「優勝」で呼ばれなかったらどうしよう」と表彰式まではドキドキして、落ち着きませんでした。

いよいよ表彰式が始まり、無事に「優勝」で名前が呼ばれて、4年連続優勝することができてとても嬉しかったです。

4年連続優勝できたからには、5年連続、さらなる高い目標の6年連続優勝をして、中学生の部で3連覇を達成したいと思っています。

今回の大会では、種目別競技で入賞できなかったことに、納得ができていないので、来年は少しでも優勝争いに残れるように練習を強化したいと思います。

今回、僕が優勝できたのは、いつも応援してくださる先生方や、憧れの先輩でもある本間聖康選手・磯貝勇誠選手の的確なアドバイスのおかげです。

そして、いつもプリントを準備し

てくれる塾の先生、いつも応援してくれている家族の存在が大きかったと思っています。

これからも頑張るので、先生方や先輩選手にずっと応援してもらえと嬉しいです。これからもよろしくお願いします。

2025年 京都カップ珠算競技大会

令和7年6月1日(日)、京都新聞文化ホールにおいて2025年京都カップ珠算競技大会が小学生・中学生・高校生合わせて、142名が参加し、開催されました。

今年もワコールホールディングス株式会社様の特別協賛をいただき、団体総合競技、個人総合競技、暗算チャンピオン競技のそれぞれのチャンピオンと最優秀選手賞(ワコール杯)には、副賞をご提供いただきました。

また、日本商工会議所の後援もいただき、個人総合競技の各部門チャンピオンには、賞状とトロフィー、メダルを寄贈いただきました。

大会の方は、開会式で、京都商工会議所・会員部長の柴隆利京都珠算振興会副会長からあいさつがあり、その後、団体・個人総合競技と暗算チャンピオン競技、オープン競技のフラッシュ暗算と熱戦が繰りひろげられました。

成績発表の前には、2月の第143回段位認定試験で十段全種目満点合格をした青年学生部の磯貝勇誠選手と三原智輝選手の伝達表彰を行いました。また、そろばんグランプリジャパン2025京都府代表選手の紹介を行いました。

成績は、団体総合競技においては、惜しくも大会記録には届かなかったものの2年連続の300点を上回る高得点で京都市立榎原中学校が大会記録に並ぶ三連覇を達成しました。尾崎壮祐選手と山本柚葉選手は、京都市立榎原小学校での2連覇を含め、個人として、大会記録を更新する5年連続団体チャンピオンとなりました。個人総合競技の最優秀選手賞(ワコール杯)は、100点での同点決勝で久野凌佑選手を圧倒した高橋風介選手が初の最優秀選手賞に輝きました。

暗算チャンピオン競技は、初の300点満点を獲得した矢ヶ部菜月選手との同点決勝を3年ぶり2回目の300点満点となった、高橋風介選手がこちらも初のチャンピオンとなり、個人二冠を達成しました。

一方で、個人総合競技は、9年ぶりに1200点満点が出ませんでした。また、団体競技を創設した2013年以降では、初めて小学生で1,100点を上回る選手が1人もおらず、小学生4部門のチャンピオンの得点も2013年以降で一番目か二番目に低く、京都カップ・塾生大会だけでなく、実力アップに向け、そろばん

グランプリなどの大会への積極的な参加の必要性を感じる非常に厳しい結果となりました。

来年は、個人総合競技・暗算チャンピオン競技ともに満点での同点決勝となることを、団体総合競技では、榎原中学校が大会記録を更新する4連覇と団体得点の大会記録(向日市立第4向陽小学校の300点)の更新を期待しています。

最後に寺田剛大会委員長から講評と谷口孝男副会長より閉会のあいさつがあり、予定どおり終了しました。来年もたくさんさんの学校が団体編成できる、多くの生徒(選手)のご参加をお待ちしています。

最後に、当日、ご参加いただきました、会員の先生方、青年学生部の方、ありがとうございました。

競技委員会



第53回近畿珠算競技大会成績

日時：令和7年3月20日(木・祝) 会場：大阪商工会議所

◎府県対抗競技

優勝	大阪府	59
2等	京都府	56
2等	兵庫県	55
3等	滋賀県	53
3等	奈良県	49

◎団体総合競技

【小学4年生以下の部】

優勝	大阪府	4,450
準優勝	兵庫県	4,350
2等	京都府	3,935
3等	滋賀県	3,880
3等	奈良県	3,680

【小学5・6年生の部】

優勝	大阪府	4,485
準優勝	兵庫県	4,415
2等	京都府	4,395
3等	奈良県	4,185
3等	滋賀県	4,170

【中学生の部】

優勝	大阪府	4,435
準優勝	京都府	4,435
2等	兵庫県	4,405
3等	滋賀県	4,005
3等	奈良県	3,910

◎個人総合競技

【小学4年生以下の部】

優良	蔵城 禾子	700
優良	柴田 明莉	685
優良	河井 七翔	655
優良	森田 桜香	630
優良	内海 裕斗	625

【小学5・6年生の部】

3等	佐藤 光	740
3等	風間 芽奈	740
優良	吉井 晨悟	735
優良	尾崎 敦啓	730
優良	水上 拓真	710

【中学生の部】

優勝	高橋 風介	750
2等	久野 凌佑	750
3等	矢ヶ部 椎菜	740
優良	三原 駿介	735
優良	尾崎 壮祐	720
優良	家森 快斗	695
優良	原田 優希	695

◎読上算競技

【小学5・6年生の部】

優勝	山本 穂花	10
----	-------	----

【中学生の部】

2等	山本 柚葉	10
3等	尾崎 壮祐	9
3等	矢ヶ部 椎菜	9

◎読上暗算競技

【小学5・6年生の部】

2等	佐藤 光	9
----	------	---

【中学生の部】

3等	山本 柚葉	10
----	-------	----

令和6年度優良生徒表彰式

令和6年度優良生徒表彰式が、令和7年2月16日(日)京都市東部文化会館に於いて盛大に挙行されました。はじめに京都商工会議所専務理事、児島宏尚京都珠算振興会会長より式辞を頂戴しました。続いて各ご来賓のご紹介をさせて頂き、特別表彰としてそろばんグランプリジャパン2024の読上暗算競技で2年連続日本一を獲得された本間聖康選手、全日本通信珠算競技大会で高校生日本一を獲得された三原智輝選手、Soroban Grandmaster Championship 2025においてチャンピオンを獲得された磯貝勇誠選手。近畿珠算競技大会で個人優勝を獲得された高橋風介選手、京都カップ珠算競技大会・塾生珠算競技大会において個人優勝をされた河井七翔選手、佐藤光選手、松中咲希選手、久野凌佑選手、山本穂花選手の計9名が表彰され、賞状並びに図書カードが授与されました。

続いて有段者表彰32名、日本珠算連盟表彰47名、京都珠算振興会表彰45名の計124名が、保護者の方々、先生方、ご来賓各位に見守られる中、賞状・名前入りの楯・記念品を授与されました。

次に被表彰者を代表して平安速算

会醍醐教場の澤井彩菜さんが、ご両親、先生方へのお礼の言葉を述べられました。続いての模範演技では競技委員会の先生方の進行で、特別表彰を受けられた磯貝勇誠選手がフラッシュ暗算、ホワイトボードとプロジェクトターを使つての速算を三原智輝選手、読上暗算の問題を本間聖康選手が其々実演されました。三選手とも日本一の実力を存分に披露され、その凄さに会場に集まられた保護者、被表彰者からも盛大な拍手が送られました。特別表彰と有段者表彰も授賞された本間聖康選手は、立命館大学を卒業し、今年の春からは新社会人として新しい門出を迎えられました。この4年間、選手としての活躍は勿論、優良生徒表彰式の模範演技や競技会の採点、小学校支援活動の協力まで、多岐にわたり京都珠算振興会の活動にも貢献していただきました。大学卒業後は京都からは離れられる形とはなりますが、今後の益々のご活躍を振興会会員一同、祈念しております。

最後に恒例のお楽しみ抽選会では、和気藹々とした雰囲気でもマツク&図書カードや豪華な景品も当たり、参加された生徒たちも大変喜んでいる様子でした。

今回の優良生徒表彰式では昨年から表彰の流れや方法を大きく変更することもありましたが、当日お手伝

いただいた先生方の柔軟な対応力のお陰で大きな問題なく、無事式典を終えることができました。あらためて御礼申し上げますとともに、今後とも会員各位のご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

塾経営広報委員



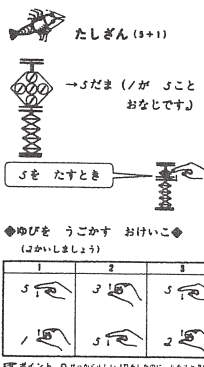
目と指で、イメージ学習 ちびっこそろばん(0)~(11)

難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追隨を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もございます。

B5判 48頁・定価 ¥300



ちびっこ 0 18頁



佐藤出版株式会社 ☎(0532)45-5956・FAX 48-4653

2025年 京都カップ珠算競技大会 入賞者

令和7年6月1日

於 京都新聞文化ホール

団体総合競技		
チャンピオン	京都市立榎原中学校	3440
準チャンピオン	京都府立嵯峨野高等学校	3235
2等	京都市立西賀茂中学校	2900
2等	京都市立上賀茂小学校	2685
2等	京都市立加茂川中学校	2675
3等	京田辺市立松井ヶ丘小学校	2675
3等	京都教育大学附属京都小中学校	2675
3等	京都市立醍醐小学校	2660
3等	京都市立京都御池中学校	2655
3等	京都市立醍醐中学校	2635

矢ヶ部 椎葉	山本 柚葉
矢ヶ部 菜月	間下 佳歩
原田 優希	矢橋 央脩
水上 拓真	柴田 明莉
小嶋 理紗	藤谷 凜
田中 綾音	吉田 陸人
藤井 愛理	久世 倫太郎
内海 裕斗	井上 斗里
高橋 風介	吉井 晨悟
井上 優里	森 野乃花

尾崎 壮祐	北山 隼
前川 晃成	森田 桜香
高木 悠莉	宮本 怜依
宮川 葵咲	西脇 大智
脇 妻鹿	妻鹿 友香
高橋 良丞	

ワコール杯
(最優秀選手賞)
高橋 風介
1195点

京都市立京都御池中学校

個人総合競技

【小学3年生以下の部】

チャンピオン	澤田 桜生	(洛南高等学校附属小)	865
準チャンピオン	岡田 千莉	(洛南高等学校附属小)	835
2等1席	川崎 都代	(京都市立鳳徳小)	825
2等2席	松浦 陸	(京都市立岩倉南小)	760
2等3席	松田 龍磨	(京都市立下京渉成小)	720
2等4席	浅井 樹	(八幡市立美濃山小)	720
2等5席	井上 松里	(京都市立醍醐小)	710
2等6席	桑坂 名	(京都市立明德小)	670
3等1席	坂本 夏寧	(八幡市立美濃山小)	665
3等2席	田中 久登	(京田辺市立松井ヶ丘小)	665
3等3席	森泉 倫太郎	(洛南高等学校附属小)	665
3等4席	奥松 真	(洛南高等学校附属小)	645
3等5席	松田 由希	(京都市立桂坂小)	605
3等6席	張田 奈緒	(向日市立第4向陽小)	600
3等7席	木村 健悠	(京都女子大学附属小)	585
3等8席	西原 悠仁	(京都市立醍醐小)	585
3等9席	内海 絢斗	(京都市立醍醐小)	580

【小学4年生の部】

チャンピオン	浅井 成	(京都市立仁和小)	805
準チャンピオン	小川 稜太	(京都教育大学附属京都小中)	720
2等1席	松尾 友弦	(京都市立榎原小)	690
2等2席	隠岐 日向	(京都市立春日野小)	670
2等3席	阪村 森	(立命館小)	670
3等1席	川村 湊	(京都市立新町小)	655
3等2席	松原 杏	(向日市立第4向陽小)	595
3等3席	民谷 大樹	(宇治市立神明小)	590
3等4席	小野 凛	(京都市立松ヶ崎小)	580
3等5席	大槻 凜	(京都市立榎原小)	565

【小学5年生の部】

チャンピオン	河井 七翔	(京都市立松ヶ崎小)	1050
準チャンピオン	内海 裕斗	(京都市立醍醐小)	925
2等1席	坂本 知優	(八幡市立美濃山小)	915
2等2席	蔵城 禾	(京都教育大学附属京都小中)	885
2等3席	柴田 明莉	(京都市立上賀茂小)	865
2等4席	森田 桜香	(京都市立上賀茂小)	855
3等1席	吉田 陸	(京田辺市立松井ヶ丘小)	830
3等2席	西脇 智	(京都市立醍醐小)	830
3等3席	松本 紗弓	(京都市立明德小)	815
3等4席	森田 明	(洛南高等学校附属小)	805
3等5席	高橋 優心	(向日市立向陽小)	800

【小学6年生の部】

チャンピオン	田中 綾音	(京田辺市立松井ヶ丘小)	1085
準チャンピオン	水上 拓真	(京都市立上賀茂小)	965
2等1席	加藤 心優	(京都市立榎原小)	965

2等2席	中井 村	遙太	(京都市立明德小)	905
2等3席	西本	斗里	(京都市立醍醐小)	905
3等1席	山本	陽大	(同志社小)	860
3等2席	山本	翔	(洛南高等学校附属小)	855
3等3席	蟹江	大	(京都市立葛野小)	850
3等4席	若松	真衣	(京都市立納所小)	835
3等5席	森元	心衣	(一燈園小)	760

【中学生の部】

チャンピオン	高橋 風介	(京都市立京都御池中)	1195
準チャンピオン	久野 凌	(洛星中)	1195
2等1席	佐藤 光	(京都府立洛北高等学校附属中)	1175
2等2席	矢部 椎葉	(京都市立榎原中)	1160
2等3席	山崎 柚	(京都市立榎原中)	1140
2等4席	尾崎 壮祐	(京都市立榎原中)	1140
2等5席	山本 穂花	(京都市立榎原中)	1105
2等6席	吉原 峻	(京田辺市立大住中)	1100
2等7席	原田 優希	(京都市立西賀茂中)	1100
2等8席	尾崎 敦	(京都市立榎原中)	1090
2等9席	家森 快斗	(洛星中)	1075
3等1席	風谷 芽奈	(高槻中)	1060
3等2席	民谷 香	(宇治市立西宇治中)	1060
3等3席	松本 愛弓	(京都市立洛北中)	1045
3等4席	井上 優里	(京都市立醍醐中)	1040
3等5席	井前 空	(京都市立春日丘中)	985
3等6席	小嶋 理紗	(京都市立加茂川中)	985
3等7席	藤井 愛理	(京都教育大学附属京都小中)	980
3等8席	久世 倫	(京都教育大学附属京都小中)	975
3等9席	濱田 悠郎	(向日市立寺戸中)	965
3等10席	吉井 晨悟	(京都市立京都御池中)	945
3等11席	宮島 彩夏	(京都市立洛北中)	910
3等12席	矢野 央	(京都市立西賀茂中)	910
3等13席	矢野 乃花	(京都市立醍醐中)	905

【高校生の部】

チャンピオン	矢ヶ部 菜月	(京都府立嵯峨野高等学校)	1180
準チャンピオン	三原 駿介	(京都市立紫野高等学校)	1160
2等1席	間下 佳歩	(京都府立嵯峨野高等学校)	1100
2等2席	北山 隼	(京都府立嵯峨野高等学校)	955
2等3席	田中 帆	(京都府立北嵯峨高等学校)	925
2等4席	伊藤 利紗	(京都市立堀川高等学校)	900
3等1席	矢野 正	(京都明徳高等学校)	860
3等2席	花畑 鷹	(京都橘高等学校)	770
3等3席	岸本 夏美	(京都府立北嵯峨高等学校)	770
3等4席	渡辺 琳音	(洛南高等学校)	765
3等5席	橋本 紗羽	(京都市立日吉ヶ丘高等学校)	745
3等6席	堀内 未	(京都府立朱雀高等学校)	610
3等7席	内田 裕人	(京都府立洛北高等学校)	595

暗算チャンピオン競技

チャンピオン	高橋 風介	(京都市立京都御池中)	300
準チャンピオン	矢ヶ部 菜月	(京都府立嵯峨野高等学校)	300
2等1席	久野 凌	(洛星中)	298
2等2席	矢ヶ部 椎葉	(京都市立榎原中)	298
2等3席	原田 駿	(京都市立紫野高等学校)	291
2等4席	佐藤 光	(京都府立洛北高等学校附属中)	288
2等5席	山本 柚葉	(京都市立榎原中)	285
2等6席	吉田 峻平	(京田辺市立大住中)	283
2等7席	田中 綾	(京田辺市立松井ヶ丘小)	282
2等8席	尾崎 壮祐	(京都市立榎原中)	275
2等9席	山本 穂花	(京都市立榎原中)	273
2等10席	原田 優希	(京都市立西賀茂中)	271
3等1席	松本 愛弓	(京都市立洛北中)	267
3等2席	家森 快斗	(洛星中)	266

3等3席	吉井 晨悟	(京都市立京都御池中)	265
3等4席	風間 芽奈	(高槻中)	259
3等5席	尾崎 敦	(京都市立榎原中)	256
3等6席	水本 拓	(京都市立上賀茂小)	250
3等7席	北山 隼	(京都府立嵯峨野高等学校)	248
3等8席	民谷 香	(宇治市立西宇治中)	247
3等9席	間下 佳歩	(京都府立嵯峨野高等学校)	247
3等10席	河井 七	(京都市立松ヶ崎小)	243
3等11席	井上 優里	(京都市立醍醐中)	237
3等12席	小嶋 理紗	(京都市立加茂川中)	236
3等13席	中村 遙太	(京都市立明德小)	231
3等14席	久世 倫	(京都教育大学附属京都小中)	229
3等15席	蟹江 紬	(京都市立葛野小)	228

そろばんグランプリ京都2025 兼
そろばんグランプリジャパン2025
京都府予選会

競技委員会常務理事 寺田 剛大

そろばんグランプリ京都2025
兼そろばんグランプリジャパン
2025京都府予選会が5月18日
(日)に山ノ内自治会館にて行われ
ました。

参加者は、ジュニア部門3名、ス
クール部門4名、シニア部門2名の
9名で、各部門の京都府一と2名の
代表推薦選手の座を目指して競技が
行われました。

まず、京都府一は、ジュニア部門
は、565点で田中綾音選手、スкуль
部門は、555点で高橋風介選手、シニ
ア部門は、磯貝勇誠選手が三原智輝
選手との590点での同点決勝を制し、
京都府一に輝きました。

代表推薦選手は、ジュニア部門は、
田中綾音選手と坂本知優選手、ス
クール部門は、高橋風介選手と久野
凌佑選手、シニア部門は、磯貝勇誠
選手と三原智輝選手がそれぞれ推薦
代表選手として選出されました。

各部門の京都府一には、日本商工
会議所から賞状とトロフィー、メダ
ルが授与されました。

また、推薦代表選手の6名には認
定証を、480点以上を取得した選手に
は奨励賞を授与しました。

そろばんグランプリジャパン
2025は、7月27日(日)に神戸常
磐アリーナ(兵庫県立総合体育館)
で開催されます。

本大会では、ジュニア部門、スкуль
ル部門、シニア部門ともに日本一決
定戦の進出には、600点満点が必要と
なる可能性が高く、この状態では、
日本一決定戦への出場がないこと
が想定される非常に厳しい結果でし
た。推薦代表選手に選出された6名
も含め、今回、不本意な成績であつ
た選手の奮起を期待しています。

また、近畿大会の代表選手24名の
うち、今大会の参加は4名に留まり
ました。全国大会は、独特の緊張感
があり、初めての出場で実力を出し
切ることは難しく、経験が必要です。
数年後を見据えて、特にジュニア部
門(小学生)の選手の皆さんには、
積極的に出場してもらいたいと感じ
ました。

〈京都府一〉

ジュニア部門 田中 綾音

(京田辺市立松井ヶ丘小学校6年)

スクール部門 高橋 風介

(京都市立京都御池中学校8年)

シニア部門 磯貝 勇誠

(京都大学3年生)

〈推薦代表選手〉

ジュニア部門 田中 綾音

(京田辺市立松井ヶ丘小学校6年)

坂本 知優

(八幡市立美濃山小学校5年)

スクール部門 高橋 風介
(京都市立京都御池中学校8年)

久野 凌佑

(洛星中学校3年)

シニア部門 磯貝 勇誠

(京都大学3年生)

三原 智輝

(同志社大学1年生)

SGCを終えて

西京都学院 京都大学3年生

磯貝 勇誠

Soroban Grandmaster
Championship(以下、SGC)は、
これがなければ自分はどうなってい
たのかを想像するのが困難なくら
い、自分がそろばんに対して深く考
える機会を与えてくれた大会でした。

昨年度は5月に初めて東京オーブ
ン珠算選手権大会に参戦するも10位
という結果に終わり、実力が如実に
反映される問題でたくさんの年少者
に引けを取ってしまったことで流石
に落ち込みました。その後の夏の大会
でも失点を重ね、思うような結果
を残すことができませんでした。今
度こそはと思って日本一を狙って挑
んだクリスマスカップでは、決勝戦
に進むどころか、準決勝で中学生を
はじめとする有力選手に圧倒され、
挙手することすらできませんでした。

以前から、正確性が原因で敗退す
ることはありましたが、スピード重
視の大会でも勝てないとなると、途
方に暮れていました。そんな中希望
の光を灯してくれたのが、SGCで
した。予選の難易度が高く、予選通
過できる可能性が高く、名人戦と
ルールがほぼ同じこの大会なら、自
分にもチャンスはあるかもしれない
と思いました。

新年になってから、まず大会の申
し込みと一緒に練習問題をあえて自
腹で全て購入しました。その方がや
る気が出ると思ったためです。予選
の問題の練習から始め、初回は100点
中90点ほど。この点数でも恐らく予
選は通れるだろうと思いつつも、予
選も一位で通過してこそその優勝だ
と思ひ、しばらく予選のみの練習をし、
トーナメント戦の練習は毎回1、2
回ずつに抑えました。予選中心の練
習によって正確性が若干上がり、一
方スピードは落ちている実感があり
ましたが、これも後につながると信
じていました。

本格的にトーナメント戦の練習を
始めたのは10日前ほどでした。まず
はスピードを上げなければと思って
全速力で計っていても、ミスは減ら
ない状況が続く、焦りを感じました。
「7種目中4種目も満足に満点が取
れないのに、どうやって4勝する
というのか。」と自問自答しながら過
ごしていたところ、同じく出場する
兵庫の有志の選手方に練習に呼んで
いただきました。私がハッとしたの

は予選の練習を終え、4人×8グループに分かれて7種目全てを計るグループステージの練習を行った時でした。種目ごとに1位に3ポイント、2位に2ポイント、3位に1ポイント、4位に0ポイント与えられるのに加え、各種目満点者のみ1ポイントを与えられるというルールの下では、失点が命取りになります。いかにも正確性抜群の原子弘務さんが考案されるルールだと思っています。その練習において、先行拳手をして失点し、繰り返し負ける中で、徐々に正確性を上げる意識が身についたように思います。

あつという間に月日が経ち、大会の前々日、前日はSGCのためだけに過ぎました。それでも、まだまだ技術面での未熟さを実感するばかりでしたが、「自分のやってきたことは無駄ではないはずだ」と信じました。

前日の夜は中学からの友人の家に泊まりました。その友人から「期待はしていないけど、優勝した時だけ連絡くれよ」と声をかけられ、以前「いつか日本一の友達がいるって我慢させてくれよ」と言われていたことを思い出し、涙が出そうになりました。他にも、先生方やライバル選手、京都の後輩、大会に出場されない方にまで激励の言葉を頂いたことで勇気が湧いてきて、自分は幸せ者だと感じていました。

迎えた当日、無事予選通過し、次

なるグループステージに向けて切り替えました。同グループの3人が正確性の高い選手であること、さらに練習で何度も負けていた阿部選手の存在があり、緊張感が高まりました。そして1種目目の見取り算で早速1番拳手で失点し、焦りからその後のかけ暗算で芯を折るなどしてしまいました。その後は立て直し、なんとか通過。

トーナメント戦以降はいつもの名人戦と同じルールですが、今回はいつもの戦い方とは違いました。以前までは全速力で相手にぶつかるというのが自分のポリシーで、何としても相手より先にストップボタンを押して、正答を願うという戦い方をしていました。しかし、それでは失点が多くなることを反省し、正答できる落ち着いたスピードの中で最大限のスピードでやることを心がけました。

1回戦。対戦相手の大関さんはグループステージで全種目満点で通過されていることから、失点が即1敗につながるかと考え、落ち着いて競技しました。伝票算のタイムが速いことを以前の大会で知っており、対戦中は伝票を中心に練習していました。4種目目のわり暗算で、先行拳手を狙われている雰囲気を感じ取り、速度を上げました。

準々決勝。対戦相手はまだ中学2年生の奈良胡春選手。読み上げ暗算で16桁を超える桁を正答されているほど桁幅が広く、まず間違えること

はないだろうという感じがしました。実際全て満点で、最後まで気が抜けませんでした。対戦後に「頑張ってください」と声をかけてくれ、当時から2の自分ならそんな素直さはない。今更なる成長を見せてくれるだろうと期待しています。

準決勝。対戦相手は24代名人戦で敗れた弥谷拓哉名人。名人戦だけでなく、全日本やクリスマスカップなど、力勝負で勝った記憶が一度もありません。1種目目のみとり暗算で失点し、2種目目のわり暗算で先行拳手され、心が折れそうになりました。しかし、その後の種目で立て直し、色々波乱もありつつ最終種目のかけ算へ。全力で答えを書き込み、見たことのないタイムで先行拳手するも両者5点。前回の戦いは2勝3敗2引き分けで負け、今回は3勝2敗2引き分けで辛勝。それだけお互いスピードが拮抗していることを認め合っているからこそその結果なのかもしれない。正直実力で勝てたという感はなく、運が良かったという感想が出てきます。

決勝。対戦相手は私の一つ下でありながら圧倒的な強さを持つ辻窪凛音選手です。1種目目の伝票算で相手の失点によりまさかの勝利し、そのあとは種目を選んだ方が勝つていくというシューティングゲームになっていたのですが、これも最終種目はかけ算でした。こちらも全速力で先行拳手

し、運良く正答。

余談ですが、対戦後に頼まれて7種目目のみとり暗算をやったところ、負けたので、勝敗はどう転んでもおかしくありませんでした。

今回優勝できたものの、まだまだ私は前進しなければいけないと感じています。

何のために自分はそろばんをやっているのか。

特に年の離れた選手に負けると、その問いがよぎることがありました。そして、日本一はもう無理なのか、と諦めそうになった時に頭に浮かぶのは、これまで巡り会ったたくさんの方々の顔でした。

まず、長年に渡り指導してくださっている谷口先生。普段自由にやりたい練習をさせていたでいて、そこからこそ、然るべき時に頂く助言は、心に響きました。勉強などで教室に長く来れない時期があっても、気にかけてくださっているのをいつも感じており、気持ちに込めたいという思いが強くありました。

挙げればきりがありませんが、練習環境を最大限に整えてくださる先生方、一緒に練習してくれる仲間、応援してくれる家族、声をかけてくださるたくさんの方、先生方、アドバイザーをくださった「期待しているよ」と言ってくださる先輩方、「出るだけで価値があるから出てほしい」「目標にしている」と言ってくれる後輩たち。

メ
デ
イ
ア
情
報

そういった方々の存在なしには、今の自分は決してないことを痛感しており、いつも心の支えにさせていただいています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

優勝が決まった時はやはり感極まってしまいました。たくさんの人から「おめでとう」と声をかけていただき、お世話になった方々に喜んでもらえた時、自分がそろばんをやっている理由を見つけられた気がしました。

この一年、様々な大会で失敗し続け、心が折れそうになったことが何度もありますが、その分「この壁を乗り越えたら絶対に自分はずっと上手になれる」と感じる部分を多く見つけることができたように思います。そしてその壁を一つ一つ少しずつ破るために奮闘している瞬間、それが自分が最も「輝いている」と思う瞬間であり、そろばんが「楽しい」と思う瞬間でもあります。全力でやって初めて大切なことが見えてきました。

最後になりますが、SGCの開催にご尽力いただきました原子弘務さんをはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

今後も皆さまの支えがあつてそろばんを続けていられることに幸せを感じながら、一つ一つを大切に邁進していきます。
引き続きどうぞよろしくお願い致します。

〈新聞記事〉

2025年4月5日(土)

朝日新聞

はじまりを歩く

「大陸伝来の品 大津で花開く」

2025年4月5日(土)

朝日新聞

細る生産現場 はじき返すか

2025年4月30日(水)

京都新聞(滋賀版)

珠算上達願い そろばん供養

大津で感謝祭

2025年5月15日(木)

京都新聞

AI時代こそ そろばん

2025年5月15日(木)

京都新聞

若いこだま

「そろばん始め 興味が出了」

2025年6月2日(月)

京都新聞

そろばん集中 142人腕競う

中京 京都カップ珠算競技大会

2025年6月3日(火)

京都新聞

若いこだま

「今こそそろばん 喜ばしく」

一級合格

第233回珠算能力検定試験

令和7年2月9日(日)

(注) ゴシック字は満点合格者

中澤明日翔(楠本) 嶋蒼葉(白梅町) 伊藤咲良・白窪心結・前田真甫・高橋良丞(醍醐) 佐々木掬(橋) 村尾聡亮・古荘れあ・中村遙太(アイ) 吉田光伽(西京都) 西村光志朗(西京都安井・高雄) 田中貴世年(高野修学院) 中村珠菜・中野璃乃(木幡平尾) 村田紗和(山木) 喜多村壮太(脳育) 柴田雅功・石原滉一郎・高橋風介(adaco) 西川葵・足立美緒(桃南) 藤田将伍(桂川) 里見元(荒井) 芦田眞依(伸童) 八田淳平・森本理暖(五島) 八木慎太郎(ねこだんご) 第272回暗算検定試験

令和7年2月9日(日)

高島羅美(吉岡) 武田朱生(adaco) 西脇大智・井上松里・田保新汰(醍醐) 松宮緒莉(木幡平尾) 第273回暗算検定試験

令和7年4月13日(日)

江濱幾太(高野修学院) 加納嵩馬(アイ) 前田侃太郎(入江) 松尾友弦(脳育) 林美花・小山桔平(誠珠会) 次橋綾花(橋) 大前あずみ(醍醐) 第46回伝票算検定試験(近国連)

令和7年4月13日(日)

吉野里咲(白梅町) 宮川珠実(脳育) 栗本蒼真・益山新(浦) 中村暖斗(入江) 中瀬想徠・上野智寛・山口陽暉・北村聡良(adaco) 田中慧(木幡平尾) 西脇大智・澤龍臣・隠岐日

向人・加藤詩菜・泰地龍希・服部翔真・元濱佑・西條華菜(醍醐) 齋藤雛・林沙奈・新田桃奈(荒井)

第46回伝票暗算検定試験(近国連)

令和7年4月13日(日)

川内虹(アイ) 藤本葵子・荒武頌之・松井美音(桃南) 高橋良丞・金史響(醍醐)

段位暗算検定試験昇段者(京都)

第272回暗算検定試験

令和7年2月9日(日)

八段(二名) 芦田眞依・中野璃乃 三段(三名) 浅井湧成・村瀬瑛祐・上村理久

二段(一名) 柴田理都 初段(二名) 田川玄人・西田光希

準初段(一名) 中川優芽

第273回暗算検定試験

令和7年4月13日(日)

十段(二名) 風間芽奈・井上優里 七段(二名) 澤井彩菜・前田蒼空 六段(一名) 近藤大翔

五段(二名) 浅井湧成・森野乃花 四段(二名) 上村理久・井上松里 二段(二名) 田川玄人・市井日和

初段(三名) 川島潤之輔・前田宙 邑・西脇大智

第46回伝票算検定試験(近国連)

令和7年4月13日(日)

九段(二名) 金子紗弥・井上優里 七段(一名) 風間芽奈 四段(三名) 橋本紗希・前田宙邑・谷口佑加理

参段(六名) 木村柚哉・柴田雅功・中村凜香・若松真衣・井上斗里・西

條結衣

準参段(三名) 上田果歩・前田真甫・岩佐大

式段(七名) 太田惇平・西村波音・中司宗佑・藤本葵子・川崎妃真乃・中村旭芽・宮崎絵梨

準式段(三名) 白窪心結・中村心咲・藤井健

初段(四名) 上田実歩・白鳥心桃・松中咲希・佐藤亜恋

準初段(七名) 浅井湧成・砂田心春・小山侑己・測上宗一郎・足立美緒・小坂賢心・下岡聖

第46回伝票暗算検定試験(近因連)

令和7年4月13日(日)

九段(二名) 河井七翔・風間芽奈

七段(一名) 井上斗里

六段(一名) 古莊れあ

五段(三名) 近藤大翔・若松真衣・前田蒼空

四段(三名) 松本紗弓・村尾聡亮・森野乃花

参段(四名) 家村叡瑠・小西陽・松中咲希・井上桧里

準参段(二名) 村尾紗奈・桑名紘生

式段(三名) 松田龍磨・加納嵩馬・

前田真甫

準式段(二名) 柴田雅功・澤井彩葉

準初段(一名) 柴田理都

第143回段位認定試験 受験者 141名

珠算・暗算申込 75名

暗算申込 48名

満点十段(二名) 磯貝勇誠・三原智輝

十段(一名) 本間聖康

九段(一名) 久野凌佑

七段(一名) 矢ヶ部菜月

六段(三名) 山本柚葉・金子紗弥・喜多桃香

五段(三名) 民谷萌々香・矢ヶ部椎葉・尾崎壮祐

四段(二名) 藤井愛理・脇長世莉

三段(四名) 井上優里・前田蒼空・佐藤光・内田妃真里

準三段(四名) 松本愛弓・高田郁斗・井爪惺太郎・山岸天莉

二段(十一名) 井上斗里・森野乃花・宮島彩夏・濱田悠生・石田藍之

佑・伊藤利紗・尾崎敦啓・久保川真衣・田保新汰・岡田大地・龍頭杏奈

準二段(十一名) 畠中心春・河井七翔・水野雄心・小林樹生・奥田大輔・中尾陽葵・西條結衣・中野璃乃・村上拓摩・小寺結子・佐藤理一

初段(十四名) 澤井彩葉・寿野楓・武田明子・三浦菜愛・渡辺琳音・星田和輝・榊原和真・加藤心優・坂部恵都・田中友士郎・藤木佐理・前田凜人・黒田咲太郎・佐藤日菜子

準初段(二十一名) 杉田希真・森田桜香・蟹江紬・小西陽・森田明・松本優音・小林泉望・河邊心華・成瀬正太郎・成田妃里・白鳥心桃・高木櫻・前田宙邑・木村浩貴・石塚妃奈・川崎妃真乃・浅井とも衣・蘭上美緒・水原千香子・村上麗・八木慎太郎

暗算段位認定者

満点十段(二名) 磯貝勇誠・三原智輝

九段(三名) 本間聖康・矢ヶ部菜月・久野凌佑

八段(一名) 尾崎壮祐

七段(三名) 矢ヶ部椎葉・金子紗弥・喜多桃香

弥・喜多桃香

五段(四名) 佐藤光・藤井愛理・山本柚葉・尾崎敦啓

四段(五名) 井上優里・民谷萌々香・河井七翔・松本愛弓・脇長世莉

三段(五名) 井上斗里・水上拓真・宮島彩夏・高田郁斗・濱田悠生

準三段(三名) 前田蒼空・水野雄心・内田一平

二段(十名) 畠中心春・寿野楓・榊原和真・高木櫻・木村浩貴・中尾陽葵・井爪惺太郎・杉本琳都・高木悠莉子・石原澪一郎

準二段(八名) 蟹江紬・小西陽・渡辺琳音・白鳥心桃・馬場奏太・家村叡瑠・上甲颯大・太田惇平

初段(七名) 森野乃花・内海裕斗・森田桜香・石田藍之佑・加藤心優・澤桜生・金川湊太

準初段(九名) 柴田明莉・内田妃真里・山下佳純・高嶋奏・伊藤利紗・成田妃里・若松真衣・宮川葵咲・堀晃太郎

施行日 令和7年2月9日(日)			
第233回	1・2・3級珠算能力検定試験		
級別	受験者数	合格者数	合格率
1級	126名	36名	28.6%
2級	121名	45名	37.2%
3級	125名	75名	60.0%
計	372名	156名	
施行日 令和7年2月9日(日)			
第159回	準1級・準2級・準3級		
第422回	4・5・6・7・8・9・10級		
珠算能力検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	34名	22名	64.7%
準2級	52名	40名	76.9%
準3級	22名	14名	63.6%
4級	71名	55名	77.5%
5級	60名	48名	80.0%
6級	58名	51名	87.9%
7級	25名	24名	96.0%
8級	33名	32名	97.0%
9級	13名	11名	84.6%
10級		2名	15.4%
計	368名	299名	
第272回 暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	13名	11名	84.6%
1級	21名	10名	47.6%
2級	24名	18名	75.0%
3級	41名	29名	70.7%
準1級	9名	6名	66.7%
準2級	11名	9名	81.8%
準3級	13名	13名	100.0%
4級	16名	16名	100.0%
5級	24名	24名	100.0%
6級	26名	25名	96.2%
7級		12名	75.0%
8級		1名	6.3%
9級	16名	2名	12.5%
10級		0名	0.0%
計	214名	176名	
施行日 令和7年4月13日(日)			
第160回	準1級・準2級・準3級		
第423回	4・5・6・7・8・9・10級		
珠算能力検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
準1級	31名	23名	74.2%
準2級	33名	24名	72.7%
準3級	31名	24名	77.4%
4級	43名	39名	90.7%
5級	48名	46名	95.8%
6級	50名	46名	92.0%
7級	24名	23名	95.8%
8級	24名	24名	100.0%
9級	15名	13名	86.7%
10級		2名	13.3%
計	299名	264名	
第273回 暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	23名	15名	65.2%
1級	20名	9名	45.0%
2級	34名	27名	79.4%
3級	30名	25名	83.3%
準1級	10名	4名	40.0%
準2級	18名	14名	77.8%
準3級	8名	7名	87.5%
4級	32名	32名	100.0%
5級	29名	29名	100.0%
6級	25名	25名	100.0%
7級		14名	87.5%
8級		1名	6.3%
9級	16名	0名	0.0%
10級		1名	6.3%
計	245名	203名	
第46回 段位・1・2・3級伝票暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	65名	38名	58.5%
1級	32名	22名	68.8%
2級	31名	29名	93.5%
3級	29名	26名	89.7%
計	157名	115名	
第46回 伝票暗算検定試験			
級別	受験者数	合格者数	合格率
段検	22名	22名	100.0%
1級	11名	6名	54.5%
2級	26名	19名	73.1%
3級	36名	30名	83.3%
4級	31名	29名	93.5%
5級	12名	12名	100.0%
アスリート	0名	0名	
計	138名	118名	

(注)伝票・伝票暗算・暗算段検の合格者数は
昇段者数・昇段率

事務局 日誌

二月九日

一、第23回1級～3級、第159回準1級～準3級、第422回4級～10級珠算能力検定試験、第272回段検・1級～10級暗算検定試験、第143回段位認定試験実施 於 京都商工会議所

一、第5回役員会

1. 2月検定の報告と反省 2. 4月検定について 3. 第53回近畿珠算競技大会府予選の報告 4. 第53回近畿珠算競技大会の本大会について 5. 令和6年度優良生徒表彰式について 6. 新春そろばんはじき初めの報告 7. 京(みやこ)わくわくのトビラそろばん体験教室開催について 8. 小学校支援活動珠算指導の状況報告 9. 令和7年度事業計画について 10. 令和7年度収支予算について 11. 会報222号発行の報告 12. 全日本ユース珠算選手権大会について 13. その他

一、会報第222号発行

二月十二日

一、第9回検定委員会

一、第4回塾経営広報委員会

二月十六日

一、令和6年度優良生徒表彰式

於 京都市東部文化会館

二月二十日

一、近団連伝票算検定委員会

三月一日

於 大阪珠算協会

一、日珠連 第6回珠算振興部会

於 東京・エッサム神田ホール1号館

三月九日

一、近畿珠算競技大会強化練習会

於 山ノ内自治会館

一、第6回役員会

1. 令和6年度優良生徒表彰式の報告と反省 2. そろばんグランプリジャパン京都府予選会について 3. 京都カップについて 4. あんどんコンクールについて 5. 令和7年度事業計画案について 6. 令和7年度収支予算案について 7. 令和7年度役員と委員会委員について 8. 5月の例会と研修会について 9. その他

於 山ノ内自治会館

三月二十日

一、第53回近畿珠算競技大会

於 大阪商工会議所

三月二十八日・四月九日・

二十五日

一、会計監査

四月六日

一、第10回検定委員会

四月十三日

一、第160回準1級～準3級、第423回4級～10級珠算能力検定試験、第273回段検・1級～10級暗算検定試験 第46回段検・1級～3級伝票算検定

試験実施、第46回段検・1級～5級伝票暗算検定試験

於 京都商工会議所

一、第7回役員会

1. 4月検定について 2. 6月検定について 3. 第53回近畿珠算競技大会の報告 4. 5月研修会について 5. 令和6年度事業報告原案承認の件 6. 令和6年度収支決算原案承認の件 7. 令和6年度収支決算監査報告について 8. 令和7年度事業計画原案承認の件 9. 令和7年度収支予算原案承認の件 10. 通常総会及び例会開催について 11. その他

五月二日～五月十四日

一、第86回きんきベスト100実施

五月五日

一、2025年度全日本ユース珠算選手権大会 於 マイドーム大阪

五月十四日

一、日珠連 第1回珠算振興部会

(Zoomによるオンライン会議)

五月十八日

一、近畿ブロック・近団連「総会」・「幹部会」合同会議

於 大阪商工会議所

一、近畿珠算強化連合会総会

於 アートホテル大阪ベタワ

一、そろばんグランプリジャパン

2025京都府予選会

於 山ノ内自治会館

五月二十五日

一、第74回通常総会

一、令和6年度珠算能力検定試験優秀協力団体表彰式 被表彰9団体及び珠算能力検定試験永年勤続表彰2名

一、第1回例会

一、懇親会(中止)

五月二十七日・六月三日・十日・

十四日

一、第1・2・3・4回総務委員会

1. 会報第223号編集会議

六月一日

一、2025年京都カップ珠算競技大会 於 京都新聞文化ホール

六月十四日

一、日珠連定時総会(欠席)

於 東京・鉄鋼会館

六月十五日

一、第1回検定委員会

編集後記

このところ、社会現象となっている「備蓄米」がニュースやワイドショーで連日取り上げられていた6月3日の早朝、衝撃的なニュースが飛び込んできました。

「長嶋茂雄氏、逝去」

長嶋氏が現役引退をされた時はまだ幼児だったため、初めて認識したのは監督時代からですが、映像等でご活躍されたことはもちろん、知っていました。

謹んでお悔やみ申し上げます。